

目次

番号	項目	課
1	これ/それ/あれ (距離による指示)	2①②
2	これ/それ (領域による指示)	2①②
3	助詞 は/と/で/へ	5①② 7①
4	ながら	8①
5	います/あります 上/中/前/よこ/後ろ	9①
6	ほしい/たい	9② 13①
7	で (手段/道具)	11①
8	て/で (原因/理由)	12① 19②
9	てください	14①
10	あげます/もらいます てあげます/てもらいます	14① 29②
11	から/けど	14②
12	ています (進行)	15①
13	ています (身に着けている)	15②
14	ています (動作作用の結果の状態)	28②
15	～は～が～	16②
16	てもいいです/ないでください	17②
17	そうです (様態 形容詞)	17②
18	そうです (様態 動詞)	17②
19	できます/ことができます 動詞可能形	18① 24②
20	やすい/にくい	18②
21	てみます	18②
22	なければなりません	20①
23	なくてもいいです	20①
24	て (様態 動詞)	20②
25	なります/ようになりました	22① 30②
26	と (道順 条件)	23①
27	たら/ても	24①
28	ほうがいいです	24②
29	まま	25①
30	直接受身	26①
31	てしまう	26②
32	使役	27①
33	そうです (伝聞)	27②
34	でしょう/かもしれません	29①
35	すぎます	30①

## 用語の説明

目次	【番号】 イラストの番号 【項目】 表現/文法の項目 【課】 教科書「こどものほんご」に対応する課。
イラストの解説	【<<提示>>】 初めに学習者になげかける言葉。 文型/表現が使われる場面や状況を提示して 正しい理解へ導く。 【例文】 イラストに対応する例文。 ___ で示してある。 例文で使われている漢字は 小学校学習漢字 1年2年生まで。 【解説】 文型の説明 【*接続】 文型,品詞の接続 名 → 名詞 形 → 形容詞 な形幹 → な形容詞の語幹 例：しずかな → 「しずか」 い形幹 → い形容詞の語幹 例：たのしい → 「たのし」 動辞 → 動詞辞書形 例：「書く」 動ます → 動詞ます形の「ます」を削除 例：書きます → 「書き」 動て → 動詞て形 例：「書いて」 動た → 動詞た形 例：「書いた」 動ない → 動詞ない形の「ない」を削除 例：書かない → 「書か」 動受 → 動詞受身 動可 → 動詞可能  普通形 → 名詞文,形容詞,動詞の普通形 丁寧形 → 名詞文,形容詞,動詞の丁寧形
登場人物	お父さん    お母さん    シンくん (10歳)    マトくん (6歳)    ナナちゃん (4歳) ランちゃん (10歳)    アイちゃん (10歳)

作成    子どもの日本語研究会  
イラスト    三村恵美子  
イラストの解説    杉山容子

協力    池上智恵子

イラストの解説

番号	項目	《提示》	例文	解説	* 接続	課
1	これ・それ・あれ	話し手と聞き手がほぼ同じ位置にいる	これは <u>かばん</u> です。 それは <u>いす</u> です。 あれは <u>かさ</u> です。	二人から身近なものはこれ 二人から少し離れているものはそれ 二人から遠く離れたものはあれ		2①②
2	これ・それ	領域による指示	シンくん : <u>これは かばん</u> です。 シンくん : <u>それは 何</u> ですか。 ランちゃん : <u>これは はこ</u> です。	話し手の領域・身近なものはこれ 聞き手の領域・身近なものはそれ 話し手の領域・身近なものはこれ		2①②
3	は と で へ		《シンくんは <u>遊園地</u> へ 行きます。車で 行きます。お父さんと 行きます。》 <u>シンくんは 車</u> で <u>ゆうえん地</u> へ 行きます。 <u>シンくんは おとうさん</u> と <u>車</u> で <u>ゆうえん地</u> へ 行きます。			5①② 7①
4	ながら	同時動作	《ランちゃんは 歩きます。歌います。》 <u>ランちゃんは 歌いながら 歩きます</u> 。 《シンくんは 走ります。かけ声を かけます。》 <u>シンくんは かけ声を かけながら 走ります</u> 。	A ながら B 同一人物が A,B 動作を同時に行う。主となる動作は B。A は B の付随的動作。		8①
5	います/あります	存在	《ナナちゃんの 家です。》 <u>家の 中</u> に <u>ナナちゃん</u> が います。 <u>いすの 上</u> に <u>ねこ</u> が います。 <u>まどの 下</u> に <u>いす</u> が あります。 <u>いすの 下</u> に <u>ボール</u> が あります。	位置 上に 中に 下に 前に よこに 後ろに <u>ドアの 前</u> に <u>犬</u> が います。 <u>やねの 上</u> に <u>鳥</u> が います。 <u>家の よこ</u> に <u>車</u> が あります。 <u>家の 後ろ</u> に <u>木</u> が あります。		9①
6	ほしい/たい	望み	《シンくんは <u>アイスクリーム</u> が 大好きです。》 <u>アイスクリーム</u> が ほしいです。 <u>アイスクリーム</u> が/を <u>食べ</u> たいです。	* (名詞) +が ほしいです * ~が/を (動ます) +たいです		9② 13①
7	で	手段 道具 (名詞)	《 <u>ご飯</u> を 食べます。》 <u>シンくんは はし</u> で <u>ごはん</u> を 食べます。 <u>ナナちゃん</u> は <u>スプーン</u> で <u>ごはん</u> を 食べます。	* (名詞) +で		11①



13	<p>ています 動作/作用の結果の状態 (身につけている状態)</p> <p>《今日は おまつりです。》</p> <p>《シンくんは… 》 <span style="margin-left: 200px;">《ランちゃんは… 》</span></p> <p><u>ぼうしを かぶっています。</u> <span style="margin-left: 200px;"><u>きものを きています。</u></span></p> <p><u>めがねを かけています。</u> <span style="margin-left: 200px;"><u>リボンを しています。</u></span></p> <p><u>ズボンを はいています。</u> <span style="margin-left: 200px;"><u>げたを はいています。</u></span></p> <p><u>時計を しています。</u></p> <p style="text-align: center;">* (動て) + います      動詞：着る はく かぶる する かける</p>	15②
14	<p>ています 動作/作用の結果の状態 (物が主体)</p> <p>《部屋で猫が遊びました。部屋の中は…》</p> <p><u>まどが あいています。</u></p> <p><u>カーテンが やぶれています。</u></p> <p><u>ふとんが よごれています</u></p> <p><u>いすが たおれています。</u></p> <p><u>花びんが われています。</u></p> <p style="text-align: center;">* (自動詞て) + います</p>	28②
15	<p>～は～が～</p> <p>《象は… 》</p> <p><u>ぞうは はなが 長いです。</u> <span style="margin-left: 100px;"><u>ぞうは 耳が 大きいです。</u></span></p> <p><u>ぞうは からだが 大きいです。</u> <span style="margin-left: 100px;"><u>ぞうは 足が 大きいです。</u></span></p> <p><u>ぞうは 足が 太いです。</u> <span style="margin-left: 100px;"><u>ぞうは しっぽが 長いです。</u></span></p> <p>《きりんは… 》</p> <p><u>きりんは せが 高いです。</u> <span style="margin-left: 100px;"><u>きりんは 首が 長いです。</u></span></p> <p><u>きりんは 足が 長いです。</u></p> <p>《うさぎは… 》</p> <p><u>うさぎは 耳が 長いです。</u> <span style="margin-left: 100px;"><u>うさぎは しっぽが みじかいです。</u></span></p> <p style="text-align: center;">A は B が C</p> <p style="text-align: center;">A は主題/全体。B は部分。C は B の特徴や様子。</p>	16②
16	<p>てもいいです 許可</p> <p>ないてください 禁止</p> <p>《美術館です。美術館の 人に ききます。》</p> <p>ランちゃん：<u>しゃしんを とってもいいですか。</u> <span style="margin-left: 100px;">許可を求める。</span></p> <p>美術館の人：<u>はい、とってもいいです。</u> <span style="margin-left: 100px;">許可する。</span></p> <p>シンくん：<u>さわってもいいですか。</u> <span style="margin-left: 100px;">許可を求める。</span></p> <p>美術館の人：<u>いいえ、さわらないでください。</u> <span style="margin-left: 100px;">そうしないよう依頼し禁止する。</span></p> <p style="text-align: center;">* (動て) + もいいです</p> <p style="text-align: center;">* (動ない) + ないてください</p>	17②
17	<p>そうです 様態 (形容詞)</p> <p>《男の人が 荷物を 運んでいます。》</p> <p><u>重そうです。</u></p> <p style="text-align: center;">外見から判断してそう思える。</p> <p style="text-align: center;">* (い形幹/な形幹) + そうです</p>	17②





30	<p><b>直接受身</b></p> <p>《運動場に みんなが います。先生は シンくんを よびました。》</p> <p>先生：シンくん！</p> <p><u>シンくんは 先生に よばれました。</u></p> <p>* A は B に C (動受)                      B が A に動作 C をする。A は動作 C を受ける。</p>	26①
31	<p><b>てしまいました 残念</b></p> <p>《あ～、残念。》</p> <p><u>アイスクリームを おとしてしまいました。</u></p> <p>その動作の結果には残念や後悔の気持ちがある。</p> <p>* (動て) + しまいました/しまった</p> <p>参考：「ちゃった」は「てしまいました」の日常的な言い方。</p> <p>* (動て) から「て/で」を削除+ちゃった</p>	26②
32	<p><b>せませす/させませす 使役 強制 (許可の意味はここでは扱わない)</b></p> <p>《お母さん：マトくん、おもちゃを かたづけなさい。》</p> <p><u>お母さんは マトくんにおもちゃを かたづけさせませす。</u></p> <p>《お母さん：シンくん、机の 上を ふきなさい。》</p> <p><u>お母さんは シンくんにつくえの 上を ふかせませす。</u></p> <p>指示や命令で行為をする。</p> <p>* A は B に C を (他動詞) + せませす/させませす</p> <p>* A は B を (自動詞) + せませす/させませす</p> <p>(例) 先生：シンくん、早く 帰りなさい。→先生は シンくんを 早く 帰らせませす。</p>	27①
33	<p><b>そうです 伝聞</b></p> <p>《ランちゃんが けがを しました。》</p> <p>アイちゃん : ランちゃんがけがをしたよ。</p> <p>シンくん : <u>先生、ランちゃんが けがを したそうです。</u></p> <p>他から得た情報を伝える。 * (普通形) + そうです</p>	27②
34	<p><b>でしょう かもしれません 推測</b></p> <p>《黒い 雲が たくさん でています。》</p> <p><u>雨が ふるでしょう。</u>                      降る可能性高いと推測する。</p> <p>《灰色の 雲が でています。》</p> <p><u>雨が ふるかもしれません。</u>                      降る可能性が低いと推測する。</p> <p>《白い 雲が 少し でています。》</p> <p><u>雨は ふらないでしょう。</u>                      降らないと推測する。</p> <p>* (普通形) + でしょう/かもしれません</p> <p>但し、名詞文/な形容詞の現在肯定形は「だ」を削除</p>	29①
35	<p><b>すぎませす 過剰</b></p> <p>《はいてみませす。》</p> <p><u>小さすぎませす。</u></p> <p>ぴったりです。</p> <p><u>大きすぎませす。</u></p> <p>程度を超えていて 好ましいことではない場合。</p> <p>* (名/い形幹/な形幹/動ませす) + すぎませす</p>	30①